

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 共英製鋼株式会社  
 コード番号 5440 URL <http://www.kyoeisteel.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 本社経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 森田 浩二  
 (氏名) 北田 正宏

TEL 06-6346-5221

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	38,480	3.7	604	△55.8	665	△53.1	242	△72.8
25年3月期第1四半期	37,118	11.5	1,366	62.7	1,419	46.4	888	49.2

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 782百万円 (33.7%) 25年3月期第1四半期 585百万円 (△1.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	5.56	—
25年3月期第1四半期	20.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	171,970	126,160	71.2
25年3月期	165,129	125,257	74.2

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 122,378百万円 25年3月期 122,516百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	15.00	20.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	5.00	—	15.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	76,000	6.6	620	△72.7	670	△72.0	100	△92.0	2.30
通期	155,000	8.9	5,000	15.1	5,500	17.7	3,000	45.0	69.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有  
 詳細は、本日開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	44,898,730 株	25年3月期	44,898,730 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	1,439,242 株	25年3月期	1,439,242 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	43,459,488 株	25年3月期1Q	43,504,488 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の日本経済は、景況感の改善や各種政策の効果などを背景に、景気回復が期待される状況にありました。

しかし当社グループの主要需要先である建設用鋼材市場では、鉄スクラップ価格下落に伴う製品先安感から需要家に鋼材購入延期の動きが出たことや、人員不足による建設・土木工事の進捗遅れ等により、製品需要は当初の想定よりも低調に推移しました。

このような状況の下、当社グループは需要に見合った製造・販売と製品価格の引き上げ、製造コスト削減に努めましたが、国内鉄鋼事業の業績は計画を下回りました。一方、海外鉄鋼事業については、在ベトナム連結子会社（12月決算会社）が3月に過去最高の販売量を記録するなど、堅調に推移しました。

これらの結果、当社グループの連結売上高は前年同期対比1,362百万円（3.7%）増収の38,480百万円となりました。連結営業利益は前年同期対比763百万円（55.8%）減益の604百万円、連結経常利益は同754百万円（53.1%）減益の665百万円、四半期純利益は同647百万円（72.8%）減益の242百万円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

#### ① 鉄鋼事業

当事業部門については、製品出荷量は前年同期対比約1万3千トン増の40万4千トンとなりました。販売価格が前年同期対比トン当たり1.4千円（2.4%）下落した一方、原材料の鉄スクラップ価格は同1.5千円（4.6%）上昇したため、利益の源泉となる製品と鉄スクラップの売買価格差が同2.9千円（10.3%）縮小しました（上記はいずれも国内における数値）。

以上の結果、売上高は前年同期対比1,448百万円（4.1%）増収の36,851百万円、営業利益は同671百万円（55.4%）減益の541百万円となりました。

#### ② 環境リサイクル事業

当事業部門については、競合状況が厳しい中、新規顧客開拓等に取り組みましたが、前年同期の大口案件分の減少等により、売上高は前年同期対比68百万円（4.2%）減収の1,555百万円、営業利益は同99百万円（26.4%）減益の277百万円となりました。

#### ③ その他の事業

当事業部門については、子会社を通じて土木資材の販売及び保険代理店業等を行っており、売上高は前年同期対比19百万円（20.4%）減収の74百万円、営業利益は同1百万円（19.9%）減益の4百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6,619百万円（7.5%）増加し、94,552百万円となりました。これは、現金及び預金が6,813百万円、受取手形及び売掛金が2,872百万円、商品及び製品が1,344百万円増加し、有価証券が5,600百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて222百万円（0.3%）増加し、77,418百万円となりました。これは、投資有価証券が2,610百万円減少し、その他の投資その他の資産が2,972百万円増加したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて6,841百万円（4.1%）増加し、171,970百万円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,694百万円（5.6%）増加し、31,987百万円となりました。これは、短期借入金が2,993百万円増加し、支払手形及び買掛金が759百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4,244百万円（44.3%）増加し、13,823百万円となりました。これは、長期借入金が増加したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて5,938百万円（14.9%）増加し、45,810百万円となりました。

#### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて903百万円（0.7%）増加し、126,160百万円となりました。これは、四半期純利益242百万円、剰余金の配当652百万円、為替換算調整勘定の増加205百万円等によります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の74.2%から、71.2%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、建設用鋼材市場における下期以降の需要増が期待されるものの、足元ではまだ力強さに欠ける状況であり、当社グループの製品出荷単価の上昇には今しばらく時間を要するものと思われます。その結果、第2四半期連結累計期間における製品と鉄スクラップの売買価格差は想定を下回る見込みです。

このような情勢を踏まえ、平成25年4月30日の「平成25年3月期 決算短信」で公表しました第2四半期連結累計期間の業績予想を変更いたします。

詳細につきましては、本日開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、平成26年3月期通期の業績予想につきましては、現時点で事業環境を見通すことが困難であることから、平成25年4月30日公表の業績予想を据え置くことといたします。今後の業績推移に応じて修正の必要が生じた場合には速やかに発表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,923	22,737
受取手形及び売掛金	35,695	38,567
有価証券	14,000	8,400
商品及び製品	12,564	13,908
原材料及び貯蔵品	7,829	7,684
その他	1,970	3,305
貸倒引当金	△48	△49
流動資産合計	87,933	94,552
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,311	13,677
機械装置及び運搬具（純額）	19,299	18,849
土地	26,748	26,489
その他（純額）	1,171	1,409
有形固定資産合計	60,530	60,424
無形固定資産	1,258	1,224
投資その他の資産		
投資有価証券	13,227	10,618
その他	2,263	5,235
貸倒引当金	△83	△82
投資その他の資産合計	15,407	15,771
固定資産合計	77,196	77,418
資産合計	165,129	171,970

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,151	15,392
短期借入金	6,041	9,033
1年内返済予定の長期借入金	130	104
未払法人税等	736	111
賞与引当金	636	447
役員賞与引当金	42	16
その他	6,557	6,884
流動負債合計	30,293	31,987
固定負債		
長期借入金	5,047	9,266
繰延税金負債	548	597
再評価に係る繰延税金負債	3,492	3,492
退職給付引当金	127	118
役員退職慰労引当金	16	17
その他	347	332
固定負債合計	9,578	13,823
負債合計	39,871	45,810
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,516	18,516
資本剰余金	21,493	21,493
利益剰余金	77,300	76,890
自己株式	△1,699	△1,699
株主資本合計	115,610	115,199
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,324	1,395
繰延ヘッジ損益	117	113
土地再評価差額金	5,330	5,330
為替換算調整勘定	135	340
その他の包括利益累計額合計	6,906	7,178
少数株主持分	2,742	3,783
純資産合計	125,257	126,160
負債純資産合計	165,129	171,970

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	37,118	38,480
売上原価	33,477	35,601
売上総利益	3,641	2,879
販売費及び一般管理費	2,275	2,276
営業利益	1,366	604
営業外収益		
受取利息	39	84
受取配当金	73	74
持分法による投資利益	29	—
その他	83	84
営業外収益合計	224	242
営業外費用		
支払利息	152	82
持分法による投資損失	—	81
その他	19	18
営業外費用合計	171	180
経常利益	1,419	665
特別利益		
固定資産除売却益	8	4
特別利益合計	8	4
特別損失		
固定資産除売却損	50	56
その他	—	4
特別損失合計	50	60
税金等調整前四半期純利益	1,377	609
法人税等	460	221
少数株主損益調整前四半期純利益	917	388
少数株主利益	29	146
四半期純利益	888	242



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	917	388
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△455	71
繰延ヘッジ損益	△30	△4
為替換算調整勘定	152	328
持分法適用会社に対する持分相当額	0	—
その他の包括利益合計	△332	394
四半期包括利益	585	782
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	472	514
少数株主に係る四半期包括利益	113	268

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼事業	環境リサイ クル事業	その他の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	35,403	1,622	93	37,118	—	37,118
セグメント間の内部売上高 又は振替高	47	467	—	514	△514	—
計	35,450	2,089	93	37,632	△514	37,118
セグメント利益	1,212	377	5	1,594	△227	1,366

(注) 1 「セグメント利益」の調整額△227百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△232百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2 「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鉄鋼事業	環境リサイ クル事業	その他の事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	36,851	1,555	74	38,480	—	38,480
セグメント間の内部売上高 又は振替高	79	473	—	552	△552	—
計	36,930	2,028	74	39,032	△552	38,480
セグメント利益	541	277	4	822	△219	604

(注) 1 「セグメント利益」の調整額△219百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△224百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2 「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。